

## 【用語解説】

### 《あ行》

用語	解説
M字カーブ	女性の労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口（就業者＋完全失業者）の割合）は、20歳代で上昇し、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという、アルファベットのM字のような曲線を描くことから「M字カーブ」と言われる。近年、そのカーブは以前に比べ浅くなってきている。
SNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）	友人・知人等の社会的ネットワークをインターネット上で提供することを目的とするコミュニティ型のサービスのこと。

### 《か行》

用語	解説
核家族	夫婦のみ、夫婦と未婚の子のみ、ひとり親と未婚の子からなる世帯のこと。
鹿嶋っ子	鹿嶋市の地域性を活かして自分の生き方を創造し、それによって地域の人たちと豊かな生活を築いていこうとする人のこと。（「第2次鹿嶋市教育振興基本計画」より）
家族経営協定	農家等における家族員の平等な経営参画を保障するため、家族員相互間で話し合いによって合意されるルールのこと。
学校支援ボランティア制度	学校と地域の連携として、各小学校区にある公民館に「学校支援コーディネーター」を配置し、学校が支援を必要とすることについて、地域の方々（保護者を含む）をボランティア派遣するもので、これまで各学校で行われてきた地域ボランティア活動の取り組みを更に組織的にし、学校の求めと地域の力を結びつけ、より効果的な学校支援を行おうとするもの。
キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度（①人間関係形成・社会形成能力②自己理解・自己管理能力③課題対応能力④キャリアプランニング能力など基礎的・汎用的能力。）を育てることを通して、キャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくこと。）を促す教育のこと。
健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく、心身ともに自立した生活ができる年齢概念のこと。

用語	解説
公共調達	市民の福祉の増進に寄与する資産を形成するための工事の完成、役務の提供、物件の納入等、市が自ら契約に基づき行う調達のこと。
合計特殊出生率	その年次の15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子供を生むとしたときの子供の数に相当する。
高齢者人口	65歳以上の人口 ※関連項目「年齢3階層」参照のこと。
固定的な性別役割分担意識	「男性は仕事、女性は家庭」など性別で役割を押し付けたり、向き不向きを決めつけたりする意識のこと。
婚姻率・離婚率 単位：‰（パーミル）	人口1000人あたりの件数。 年間届出件数/10月1日現在の人口 × 1,000

《さ行》

用語	解説
仕事と生活の調和	いわゆる「ワーク・ライフ・バランス」のこと。 個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加等、個人や多様なライフスタイルの家族がライフステージに応じた希望を実現できるようにすること。
自然動態	一定期間における出生・死亡に伴う人口の動きのこと。
市民活動支援制度	鹿嶋市独自の制度で、市民のアイデアや発想、行動力などをまちづくりへ反映させるため、市民から事業を公募し、提案者と市や関係者が協議・検討しながら事業を実施する「協働提案事業」と、市内における公益的な課題に対して市民が自主的に取り組む活動を支援するための「ボランティア活動交付金」の2事業のこと。
社会動態	一定期間における転入・転出に伴う人口の動きのこと。
出生率	人口1,000人あたりの出生数。
人口置換水準	現在の人口を維持し、親の世代と同数で置き換わるために必要な合計特殊出生率のレベルのこと。
生産年齢人口	15～64歳の人口。 ※関連項目「年齢3階層」参照のこと。

用語	解説
セクシュアル・ハラスメント	「職場において、労働者の意に反する性的な言動が行われ、それを拒否するなどの対応により解雇、降格、減給などの不利益を受けること」又は「性的な言動が行われることで職場の環境が不快なものとなったため、労働者の能力の発揮に悪影響が生じること」をいう。男女雇用機会均等法により事業者はその対策が義務付けられている。
積極的改善措置	いわゆる「ポジティブ・アクション」のこと。 あらゆる分野における活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供すること。
セーフティネット	「安全網」と訳され、生活困窮者等に対し、網目のように救済策を講じることで、社会全体に対して、安全や安心を提供するための仕組みのこと。
相対的貧困・貧困ライン・相対的貧困率	「相対的貧困」とは、一定基準（貧困ライン）を下回る等価可処分所得（「世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除き、児童手当などの政府からの公的な援助を加えた所得）」を世帯人員の平方根で割って調整した所得）しか得ていない状況をいい、「貧困ライン」とは、日本の等価可処分所得の中央値の半分の値をいい、「相対的貧困率」は貧困ラインに満たない世帯員の割合のことをいう。

《た行》

用語	解説
地域子育て支援センター	地域子育て支援拠点事業の一つで、専門職員による子育て家庭に対する相談指導、子育てサークルの育成支援、地域の保育資源等の情報提供などを行う事業。
デートDV	恋人同士など親密な関係にある若者間の暴力で、相手の交友関係や行動をしぼる、怒鳴ったり暴力をふるう、性行為を強要する、避妊に協力しないなど、様々な形の暴力を含む。
転出超過・転入超過	転入超過とは、一定期間における転入数が転出数を上回っている状態をいい、一方で転出超過とは、一定期間における転出数が転入数を上回っている状態をいう。
ドメスティック・バイオレンス（DV）	「配偶者等からの暴力」の項を参照のこと。

《な行》

用語	解説
年少人口	「年齢3階層」を参照のこと。
年齢3階層 (年少人口, 生産年齢人口, 高齢者人口)	年少人口: 0~14歳人口 生産年齢人口: 15~64歳人口 高齢者人口: 65歳以上人口

《は行》

用語	解説
配偶者等からの暴力	配偶者や恋人など親密な関係にある人からふるわれる暴力のことで、殴る、蹴るという「身体的暴力」だけでなく、言葉による「精神的暴力」、親・兄弟姉妹や友人との付き合いや行動を制限する「社会的暴力」、生活費を渡さないといった「経済的暴力」、避妊に協力しないなどの「性的暴力」も含まれる。「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（平成13年法律第31号）」では、配偶者（事実婚、元配偶者を含む）、生活の本拠を共にする交際相手からの暴力を法の適用対象としている。
バリアフリー	高齢者・障がい者等が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去（フリー）すること。物理的、社会的、制度的、心理的な障壁、情報面での障壁など全ての障壁を除去するという考え方のこと。
「103万円の壁」 「130万円の壁」	年収が103万円を超えると、所得税が課税され、配偶者が納める所得税の算定にあたり、配偶者（特別）控除（納税者に所得税法上の控除対象配偶者がいる場合に、一定の金額の所得控除が受けられる制度）が段階的になくなる。さらに、年収が130万円を超えると社会保険の被扶養者の対象外となり、年金や健康保険の保険料負担が生じる。このため、手取りが減らないよう、女性が働く時間を抑える「壁」になっていると指摘されている。
貧困ライン	「相対的貧困・貧困ライン・相対的貧困率」の項を参照のこと。
フレックスタイム	1か月以内の一定期間（清算期間）における総労働時間をあらかじめ定めておき、労働者はその枠内で各日の始業及び終業の時刻を自主的に決定し働く制度のこと。

用語	解説
ベイズ推定値	市区町村単位では出生数などの標本数が少なく、偶然変動の影響を受けて数値が不安定な動きを示すことからベイズ統計による推定の適用を行って算出した数値。
放課後子ども総合プラン	「放課後子ども総合プラン」は、国において、共働き家庭等の子どもが小学校に進学する際に、預けられる時間が短くなることにより、働き方を変えなければならない状況（いわゆる「小1の壁」）を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、すべての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備を進めるため、策定されたものである。なお、放課後子ども総合プランに基づく取り組み等については、次世代育成支援行動計画に盛り込むこととされており、鹿嶋市においては、「鹿嶋市子ども・子育て支援計画（平成27年3月策定）」において、子ども子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」と一体的に策定をしている。
ポジティブ・アクション	「積極的改善措置」の項を参照のこと。

《ま行》

用語	解説
マタニティ・ハラスメント	働く女性が妊娠・出産・育児休業等を理由に職場で受ける精神的・肉体的な嫌がらせや不利益な取扱い（解雇・雇止め、降格・減給、心ない言葉かけ等）のこと。
まちづくり出前講座	市民からの要望に応じて、学習会等へ市担当職員を講師として派遣し、市の業務等に関する説明や職員が職務上習得した知識や技術を提供するもので、市政に関する理解を深めていただき、市民の皆さんとともにまちづくりを進めることを目的として実施する事業。
メディア・リテラシー	メディアを主体的に読み解く能力、メディアにアクセスし活用する能力、メディアを通じコミュニケーションする能力を構成要素とする複合的な能力のこと。

《や行》

用語	解説
ユニバーサルデザイン	あらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方のこと。製品や建築デザインといったハードの整備にとどまらず、交通・サービス・情報・教育・まちづくり・コミュニティ・行政など、ハード・ソフト両面の幅広い分野を対象とする。

《ら行》

用語	解説
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（「性と生殖に関する健康と権利」）	1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念。「リプロダクティブヘルス」は、人間の生殖システムおよびその機能と活動過程のすべての側面において、単に疾病、障害がないというばかりでなく、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態にあることを指す。「リプロダクティブライツ」は、すべてのカップルと個人が、自分たちの子どもの数、出産間隔、出産する時期を自由にかつ責任をもって決定でき、そのための情報と手段を得ることができるという基本的権利、ならびに最高水準の性に関する健康およびリプロダクティブヘルスを享受する権利のこと。これらに関連して、思春期や更年期における健康上の問題等生涯を通じての性と生殖に関する課題も含め幅広く議論されている。
リベンジポルノ	元交際相手の性的な写真等を嫌がらせ目的でインターネット上に公開することなどをいう。このような行為の多くは、私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律（平成26年法律第126号）による規制の対象となる。なお、同法の規制対象は必ずしもこのような行為に限定されるものではない。
労働力率	15歳以上人口に占める労働力人口（就業者＋完全失業者）の割合。 労働力人口（就業者＋完全失業者）/15歳以上人口
ロールモデル	具体的な行動や考え方の模範となる人物のこと。

《わ行》

用語	解説
ワーク・ライフ・バランス	「仕事と生活の調和」の項を参照こと。